提　言　書

平成２５年１１月

人吉市補助金審査委員会

はじめに

近年の経済状況は緩やかに回復傾向であるといわれるなか、中小企業が多くを占める地方においては、依然厳しい状況であることに変わりありません。

国・県の法令等に定めがなく交付される補助金（任意補助金）は、その財源を市民の皆さんが納められた税金によって賄われており、その使途については市民にとって公平かつ効率・効果的なものであることが前提であります。その前提のもと、人吉市補助金審査委員会では、平成２４年度の実績について補助金の原理原則である「公平性」「必要性」「有効性」「補完性」の４つの視点に加え、前回審査での指摘等を踏まえた「改善点」を視点に加えて審査を行いましたので、その結果を報告します。

１　審査結果について

今回の審査の対象とした任意補助金は、前回の審査において１年見直し及び原則交付すべきではないとされたもの、並びに前回審査以降に新設されたものの計２９本の補助金です。（※６ページに一覧表を掲載）

審査は、平成２４年度の交付実績について提出された実績報告書等の審査及び補助金交付団体と担当課を対象としたヒアリングを実施し、委員５名（委員１人につき２０点満点）の評点の総計を基に①～④のランクに振り分けました。

その結果は以下のとおりです。

【審査結果】

評　点	ランク	ランクごとの概要	見直し期間	件数
７５点以上	①	今回の審査においては、適正であると判断されるもの。	３年後 見直し	―
５０点～ ７４点	②	概ね適正であると判断できるが、審査結果を踏まえ１年後見直しが必要なもの。	１年後 見直し	１７ (9)
４１点～ ４９点	③	改善すべき点がみられるので、減額を含め１年後に見直しが必要なもの	１年後 見直し	9
４０点以下	④	原則交付すべきではないもの	―	3

※新規補助金については、ランク②に区分する。(　)は新規の件数。

２　今後の補助金制度の運用について

今回の審査にあたり各委員から出された意見の中で、今後の運用において特に改善を求める事項は以下のとおりです。

（１）全般的事項

①　提出される報告書及び資料について

担当課を通して提出された実績報告書並びに添付資料については、統一されておらず、また、その記載方法についても同様に不備が見受けられ審査を行う上で支障をきたした。

実績報告については、「人吉市補助金等交付要項」に基づき、提出書類及び記載方法の統一化を図られたい。

②　ヒアリングについて

今回のヒアリング審査においては、補助金交付団体と担当課同席の上で実施されたが、申請側と交付側としてのそれぞれの本意の聴取ができたのか疑問が残った。

次回審査においては、ヒアリングの対象者の検討をお願いしたい。

（２）市に関する事項

①　補助金として交付するに適さない事業

事業内容の説明を聞くにあたり、市の事業としてきちんと予算化し、実施すべき事業が見受けられた。

②　交付団体と市との関係について

団体事務局を担当課が行い、補助金交付団体構成員の自主性が欠けているように感じられた。

③　補助金の具体的内容及び使途の適正について

今回のヒアリングのなかでも多くの指摘があったように適正に支出されているのか判断し難い事業も見受けられたので、担当課においては「人吉市補助金等交付要項」を再度確認し、適正な支出となるよう指導されたい。

（３）補助金交付団体について

①　事業の内容等について

・事業の実施による受益者が特定され、広く市民の福祉向上及び利益の増進につながっているのかと判断し難いものがあった。

・その活動等が時代にそぐわないもの、また、事業そのものの継続についての検討が必要と思われるものがあった。

・団体の本来の目的とかけはなれた事業内容のものが見受けられた。

・事業実施による効果等を検証がなされていない。何を持って効果があったと判断するのかの検討もされていない。

② 補助金の使途等について

・交付要項に定められている経費以外（飲食等）をも対象経費として支出されていた。

・その支出に関して、適正に監査が行われているか疑問に感じるところがあった。

・上部団体への負担金で、重複していると思われるものがあった。

③ 実績報告書について

・報告書の決算額と添付された資料にある決算額が異なっているものがあった。

・明らかに対象経費でないものを、対象経費として計上されていた。

④ その他

・申請者と交付決定者が同一であるものがあった。

申請者と交付決定者が同一であることは好ましくないので、申請者（団体代表者）は変更すべきである。

・前回指摘の改善事項について、取組み（その努力）がみられなかった。

・補助金交付を前提として、収入の確保に対する自助努力が希薄に感じられるものがあった。

・繰越金の取扱いが不適切なものがあった。

特にその財源が市からの補助金のみとなっている事業については、多額の繰越が発生するのは不適切であり、事業完了後は速やかに精算すべきである。

・予算化されているにも関わらず執行していないものや予算化をせずに執行されているものがあった。

・負担（会費等）が公平でないと思われるものがあった。

（４）その他

① 補助団体から別の補助団体への補助金の交付があり、重複交付とみられるものがあった。

② 補助金の名称がその活動とそぐわないものがあった。

③ 事業内容が重複しており、統合すべきと思われるものがあった。

④ 審査の手法について

評点の配分や評価シートの様式、評点を付けがたいもの（団体の熱意・やる気など）を評価できる手法を検討されたい。

３　おわりに

昨今、著しい情報技術の発展により、だれもが都会・地方また時間を問わず知り得たい情報や物などを簡単に手に入れることができるようになっています。このように「物の豊かさ」が溢れる一方で、「人のために」とか「社会のために」といった昭和の時代に築かれてきた「心の豊かさ」が少しずつ失われつつあるように感じています。われわれは将来に向けて、「物の豊かさ」に溺れることなく、一人ひとりが幸せを実感できる「心の豊かさ」を少しでも取り戻していくことが必要であると感じています。

そのためにも、それぞれの団体において所期の目的が何であったのかという原点に立ち返っていただくとともに、行政においても団体と協働して何ができるのかということを再考すべき時期にきているのではないかと感じているところです。

特に新たに確立された補助金制度は、基本条例に掲げられている「市民との協働による公平で効率・効果的な補助金制度」でなければならないと明記されています。それは、「補助金は市民の税金である」という共通認識が前提であり、その使途については説明責任を有するということを交付する側、される側ともにあることをしっかりと理解しておかねばなりません。

今回の審査会の審査が、上記のことを再認識いただくとともに、少なくとも「心の豊かさ」を少しでも取り戻すきっかけにつながっていただけたらと願うところです。

人吉市補助金審査委員会
会長　明石　照久
委員　有地　永遠子
委員　小林　英敏
委員　立山　勝徳
委員　松本　善胤

【委員会活動実績】

第１回　平成２５年８月２６日（月）午後１時～午後３時
［内容］
・会長選出
・補助金審査の方法について
・今後のスケジュールについて

第２回　平成２５年９月１８日（水）午後１時３０分～午後５時
［内容］
・補助金審査のためのヒアリング（５補助金）

第３回　平成２５年９月２５日（水）午後１時３０分～午後５時
［内容］
・補助金審査のためのヒアリング（５補助金）

第４回　平成２５年１０月４日（金）午後１時３０分～午後５時
［内容］
・補助金審査のためのヒアリング（５補助金）

第５回　平成２５年１０月８日（火）午後１時３０分～午後４時３０分
［内容］
・補助金審査のためのヒアリング（５補助金）

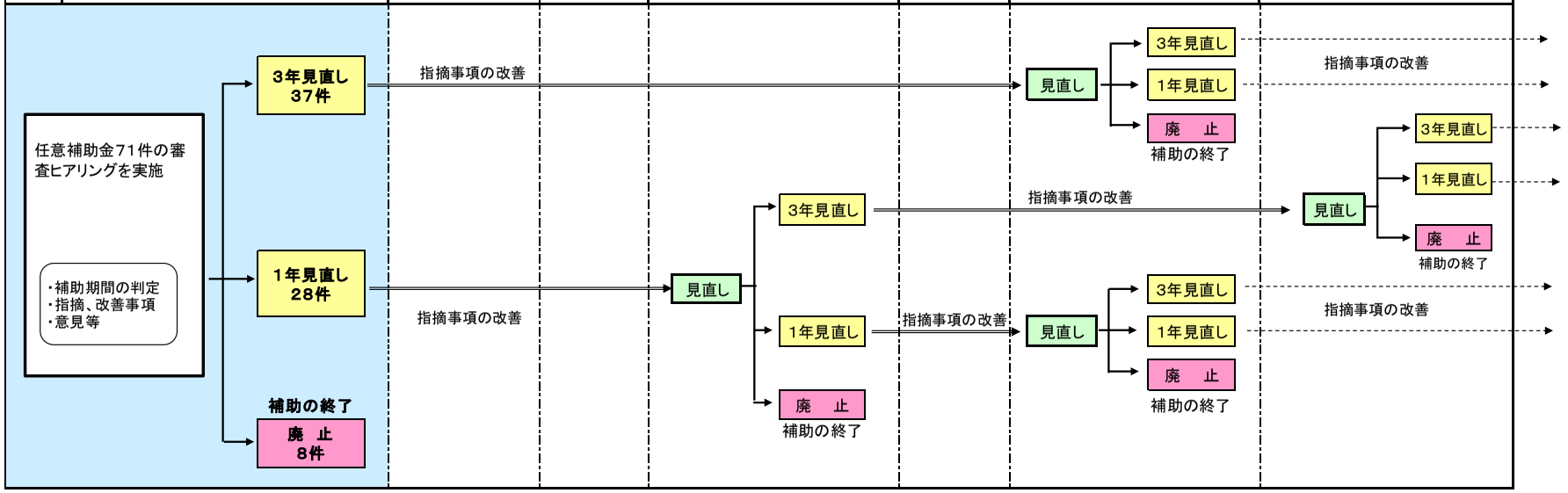
第６回　平成２５年１０月１８日（金）午後１時３０分～
［内容］
・補助金審査のためのヒアリング（５補助金）

第７回　平成２５年１０月２９日（火）午後１時３０分～
［内容］
・補助金審査のためのヒアリング（４補助金）

第８回　平成２５年１１月１２日（火）午後１時３０分～
［内容］
・審査結果について－見直し期間の決定
・提言書内容についての審議
・市長提言

平成25年度　審査対象補助金一覧表

区分	No	担当課	款	項	目	細々節名称	H24支出額(円)
1年見直し	1	自治振興課	2	1	1	人吉市町内会長嘱託員連合会補助金	200,000
	2	防災安全課	2	1	1	人吉市暴力追放協議会補助金	70,000
	3	防災安全課	2	1	1	社団法人全国自衛隊父兄会人吉支部補助金	50,000
	4	福祉課	3	1	1	人吉地区保護司会補助金	190,000
	5	福祉課	3	1	1	人吉市遺族会補助金	100,000
	6	福祉課	3	1	2	人吉市身体障害者福祉協会補助金	300,000
	7	保健センター	4	1	1	人吉准看護学院補助金	800,000
	8	保健センター	4	1	3	人吉市健康推進員会補助金 （旧名称：保健補導員会補助金）	394,000
	9	商工振興課	5	1	2	人吉球磨能力開発センター補助金	1,700,000
	10	商工振興課	7	1	2	人吉球磨建築木工まつり補助金	90,000
	11	商工振興課	7	1	2	人吉物産振興協会（運営費・特別事業）補助金	1,250,000
	12	商工振興課	7	1	2	中小企業人材育成助成事業補助金	346,000
	13	観光振興課	7	1	3	大村古墳まつり補助金	50,000
	14	観光振興課	7	1	3	球磨川太鼓保存会補助金	100,000
	15	観光振興課	7	1	4	石野公園まつり補助金	180,000
	16	学校教育課	10	1	2	私立学校助成補助金	1,000,000
	17	社会教育課	10	6	1	人吉市剣道協会補助金	200,000
	18	社会教育課	10	6	1	人吉市スポーツ少年団補助金	200,000
全面見直し	19	商工振興課	7	1	2	人吉たばこ販売会環境美化事業補助金	61,000
	20	社会教育課	10	5	1	人吉市青少年育成市民会議補助金	400,000
新規	21	自治振興課	2	1	7	人吉市国際交流協会補助金	2,000,000
	22	防災安全課	2	1	11	人吉市高齢者交通安全シルバーサポート事業推進協議会補助金	230,000
	23	福祉課	3	1	1	人吉市社会福祉協議会補助金（災害救援ボランティア養成事業）	1,961,790
	24	福祉課	3	1	1	人吉市社会福祉協議会補助金（買物支援事業）	4,500,000
	25	環境課	4	1	1	熊本県温泉協会人吉球磨支部補助金	30,000
	26	農業振興課	6	1	3	人吉ブランド化実行委員会補助金	1,500,000
	27	観光振興課	7	1	3	鹿目の滝まつり補助金	500,000
	28	観光振興課	7	1	3	じゅぐりっと博覧会実行委員会補助金	2,000,000
	29	社会教育課	10	5	2	ひとよし花まる学園大学実行委員会補助金	1,663,000

○補助金見直しに係る今後の流れ（フロー図）

年度	H21～H22	H23	H24	H25	H26	H27～H28	H29
実施内容	・補助金審査ヒアリング（審査判定）	・（新）補助金要綱の作成 事業時期（団体方針決定時期）によって要求時期検討	・新要項による運用開始	書類審査・ヒアリング ・1年見直し（H22審査分） ・H24新規補助金（9補助金）		書類審査・ヒアリング ・3年見直し（H22審査分） ・1年見直し（H25審査分）	書類審査、ヒアリング ・3年見直し（H25審査分）
概要	・見直し期間の設定 ・指摘事項（コメント）、他	・補助金額の算定方法を要項に明記	―	・見直し時期の設定 ・改善点などの指摘	―	―	―